

さくら

2024

第39号



小児診療について

泌尿器科紹介

排尿ケアチーム紹介

認定看護師紹介

医療薬学専門薬剤師研修施設(連携施設)認定

新任医師紹介

小児総合医療センター



当院小児科は「24時間365日 子どもたちの"安全・安心"を守ること」を使命として、昭和53年に当院が救命救急センターを併設して以降、総合診療の一環としての小児救急医療の実践に務めてまいりました。そして総合的な視野で子ども達に対応する体制づくりの一貫として2018年に新病院へ移転した後に「小児総合医療センター」へと変わりました。

小児総合医療センター センター長 **天本 正乃**



3つの柱

1. 24時間365日対応可能な小児救急センター

熱などの内因性疾患はもちろんのこと、外傷などの外科系疾患に対しても小児科医が積極的に関わっています。入院中も小児科が主治医となり、小児外科、形成外科、整形外科医師と協力し子どもの治療に取り組んでいます。

2. 専門性の高い医師が多数在籍

当院には、血液・腫瘍、救急・集中治療、小児神経・発達、遺伝、アレルギー、循環器、内分泌、腎臓、超音波検査を用いた画像診断などの分野に専門性を持った医師が在籍しています。

3. 子どもを取り巻く環境のサポート

身体の病気だけでなく、心の問題、育児不安、発達の心配など子どもに関するあらゆる問題へ真摯に取り組み、すべての子どもが健やかに成長していくための多方面にわたるサポートを心がけています。事故予防の指導や育児相談、心理士によるカウンセリング、子どもにとってより良い成育環境となるよう行政支援などを提案しています。入院中は保育士が常駐し、環境のサポートを行っております。

小児臨床超音波センター

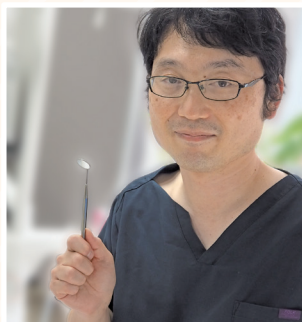


2023年4月1日。日本初の小児臨床超音波センターが開設されました。『小児科医』が『実臨床』の中で自ら『超音波検査』を行うセンターです。

自ら外来にて、腹痛や嘔吐の原因、熱の原因はもとより、原因不明のしこり（腫瘍）や不機嫌、歩けない、など多くの訴えに対して超音波検査を施行致します。入院や外来などすべての患者様に超音波検査を用いてプラス1の医療を提供できないかということを日々模索しております。

小児臨床超音波センター センター長 **小野 友輔**

小児歯科



当科では、個々の状況に応じた小児歯科診療を行っております。

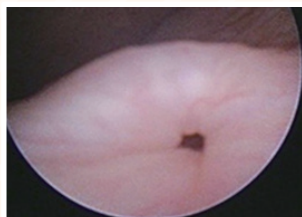
小児の発育に対する全面的なサポートに加え、周術期口腔管理や虫歯にしないための情報提供を行っております。また、発達障害のお子様に対しては、個々の状況に応じた歯科治療を検討しています。

小児歯科専門医には患児や保護者らが抱える諸問題にきめ細かく対応していくことが求められております。医科に比べて歯科は受診の敷居が低く、特に痛いところがなくても定期的にフッ化物塗布のため来院する患児も大勢居ます。そのため、小児歯科専門医は、患児や保護者にとって身近な医療従事者のひとりであるという自負を持ち、子どもの成長発達をサポートする一翼を担う立場にあると考えられます。お子様のお口の発育を適切に管理しながら、お子様を取り巻く養育環境にも関心を持って診療にあたっています。

患児、患児の家族、地域社会に対して貢献できるよう、医療提供に努めて参ります。

歯科 主任部長 **渡辺 幸嗣**（小児歯科専門医）

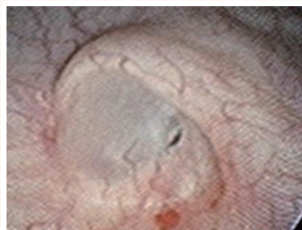
小児VUR



①拡大した尿管口
(膀胱と尿管の接合部)



②粘膜を穿刺してDefluxを注入



③粘膜の膨隆によって
尿の逆流を防止する

膀胱尿管逆流症(VUR)に対する 内視鏡的Deflux（デフラックス）注入療法

膀胱尿管逆流症（VUR=Vesicoureteral Reflux）とは、尿が膀胱から尿管・腎臓の方へ逆流する病気で、小児の約1%に認められると言われています。成長とともに自然治癒することも多いですが、細菌が腎臓へ逆流することによって高熱を繰り返す尿路感染を発症することもあります。腎臓への感染やダメージを防止するため、逆流の程度（グレード）に応じて適切な方法で治療を行うことが重要です。これまで標準的な治療は、尿管を膀胱内に植え直し逆流を防止する開腹手術でしたが、近年、Deflux注入療法という新たな治療が開発され、当科でも2020年から導入しています。

VURは、尿管が膀胱壁を貫く出口の形が異常になっているため尿が逆流しやすくなっている病態です。この出口のところにDefluxと呼ばれる物質を注入することにより、尿管の出口を狭くして逆流しにくくする方法です。

Defluxの成分はコラーゲンなどで、生体に害を及ぼさない原材料でつくられており、世界各国で50,000人以上の患者さんに使用され、安全性と長期的な効果が期待されています。手術時間は15-20分程度で、短期間の入院で施行可能で、体の表面に全く傷は残らず、低侵襲な治療法です。

当科ではこれまで10症例（15尿管）ほど施行し、全例VUR消失を確認しており、良好な治療成績です。今後も適応症例に対しては積極的に行っていきたいと考えています。

泌尿器科主任部長 **松本 博臣**

泌尿器科の紹介

当科では泌尿器科悪性腫瘍（腎癌、前立腺癌、膀胱癌、腎盂尿管癌、精巣腫瘍など）、良性疾患（尿路感染症、尿管結石症、前立腺肥大症、過活動膀胱など）に対する診療を行っています。とくに悪性腫瘍に対する手術治療・全身癌化学療法では、新しい知見を取り入れ、最新の治療が行えるよう心がけております。

また、当院の特色である小児診療も積極的に行っており、小児泌尿器科領域での外科手術（停留精巣、先天性水腎症、膀胱尿管逆流症、包茎など）を施行しています。

泌尿器科救急疾患（尿路外傷、尿管結石嵌頓、腎後性腎不全、尿閉、膀胱タンポナーデ、精索捻転など）にも対応します。

2022年4月より、常勤泌尿器科医（専門医1名）が2名となりました。種々の疾患に対し、当院で診断・治療・フォローアップまで完結できるように努め、地域住民の方々のニーズに応えられるような医療を展開してまいります。

取り扱う主な疾患

■泌尿器科悪性疾患

腎癌、膀胱癌、腎盂尿管癌、前立腺癌、精巣腫瘍、副腎癌、等

■泌尿器科良性疾患

尿路結石症、前立腺肥大症、過活動膀胱、尿路感染症、等

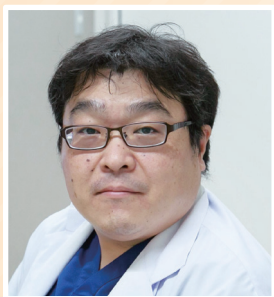
■小児泌尿器疾患

停留精巣、先天性水腎症、膀胱尿管逆流症、包茎、等

■泌尿器救急疾患

尿路外傷、尿管結石嵌頓、腎後性腎不全、尿閉・膀胱タンポナーデ、精巣捻転、嵌頓包茎、等

スタッフ



泌尿器科主任部長

松本 博臣

まつもと ひろおみ

日本泌尿器科学会専門医・指導医



泌尿器科部長

渡邊 舟貴

わたなべ しゅうき

日本泌尿器科学会専門医

排尿ケアチーム

入院患者様の中には、自力で排尿ができないため、尿道カテーテルと呼ばれる管を留置されている方が多数いらっしゃいます。

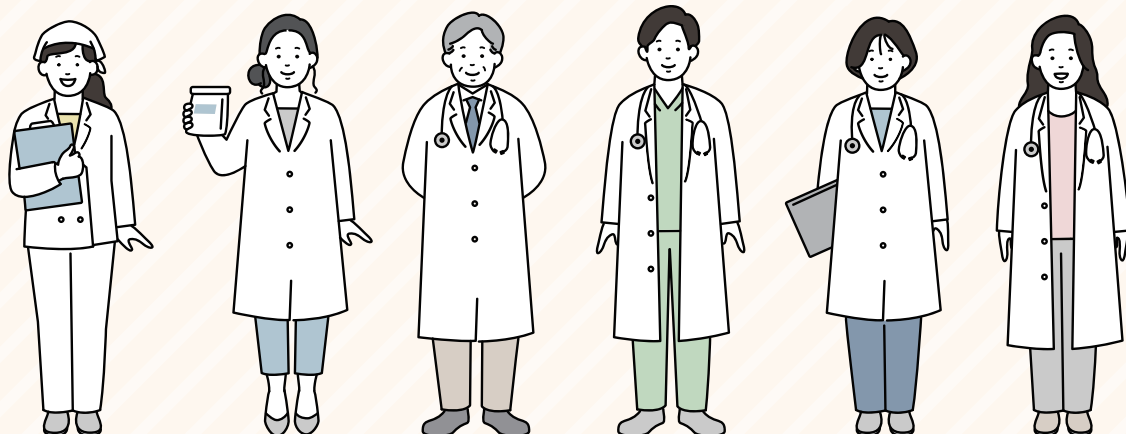
当院では、尿道カテーテルを使用した患者さんを対象に、1日でも早く尿道カテーテルを抜去し、適切なケアを実施するために、排尿ケアチームが活動しています。尿路感染症を予防するとともに、排尿障害の改善、個別性に応じた排尿管理を行い、元も生活へ復帰できるよう支援しています。

排尿ケアチームは、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師・医療事務などの多職種で構成されており、それぞれの専門性を活かし患者さんにもっともよい排尿ケアを提供できるよう関わっています。

尿道カテーテル抜去後に下部尿路機能障害を生じると見込まれるまたは、下部尿路機能障害を生じている患者さんを対象に、週に1回、排尿ケアラウンドを行い、排尿自立度と下部尿路機能の評価を行っています。

排尿ケアは急性期から慢性期、病院から在宅、地域の中の施設など、全ての場で行われています。入院中から排泄の自立を目指すことで、退院後の家族の介護負担は軽減し在宅療養生活が継続しやすい環境が整います。

今後も多職種協働で排尿ケアの質を高め、スムーズな在宅復帰の実現にむけて多職種で取り組んでいきます。



認定看護師紹介

10分野15名の認定看護師が活躍しています。

梶原 多恵

かじわら たえ

小児救急看護認定看護師

子どものフィジカルアセスメントや救命処置はもとより、子どもの健やかな成長発達を願い、家族を含めてサポートをしています。

橋本 優子

はしもと ゆうこ

小児救急看護認定看護師

子どもと家族を取り巻く環境を調整し、地域における子どもと家族の社会資源となるよう活動しています。

伊與田 久美子

いよた くみこ

小児救急看護認定看護師

子どもたちが安心して健やかに成長するサポートができればと思います。日々業務を行っています。子どもと家族の笑顔を見ることができるよう頑張ります。

井筒 隆博

いづつ たかひろ

救急看護認定看護師

私の看護観は「1秒でも早く安楽を提供する」です。その為に、迅速なABCDEの評価と安定化、原因検索と原因治療へのチームアプローチを行い看護実践しています。

角田 直也

すだ なおや

救急看護認定看護師

災害や救急看護の学習や経験する機会に恵まれてきました。地域の安全・安心に貢献できるように活動していきます。

山下 亮

やました りょう

クリティカルケア認定看護師

クリティカルケア認定看護師として、入院時から退院を見据えて、多職種協働で重症化の回避、早期回復支援に努めています。

川崎 久美子

かわさき くみこ

集中ケア認定看護師

重症患者が入室するクリティカルエリアの看護師です。ご家族の不安にも耳を傾け、病状の回復に向けた看護の提供を心がけています。

中川 祐子

なかがわ ゆうこ

感染管理認定看護師

地域のみなさんと一緒に安心・安全な医療を守っていきたくと思っています。感染対策でお困りの際は、いつでもご相談ください。

山田 友美

やまだ ともみ

感染管理認定看護師

『持ちこまない・持ち出さない・拡げない』を目標に、患者さんや職員を感染から守り、地域に繋がる活動を行っていきたくと思います。

福永 聡

ふくなが さとし

がん化学療法看護認定看護師

がん化学療法を受けながら、その人らしく生活できるように支援したいと考えています。患者がなんでも相談できる存在でありたいです。

岩永 妙

いわなが たえ

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

近年、若年の脳卒中患者さんも増えており、社会復帰に向けた看護介入の重要性を痛感しています。予防と受診のタイミングの啓蒙活動にも注力していきたいと考えています。

最所 麻奈美

さいしょ まなみ

摂食・嚥下障害看護認定看護師

ICUに所属しており、1日でも早く、ひとくちでも多く、継続して経口摂取できるように口腔環境を整えることを心がけています。

日畑 沙也香

ひばた さやか

摂食・嚥下障害看護認定看護師

「1口でも多く食べる!!」を目標に、1人でも多くの方が経口摂取を諦めなくて済むように取り組んでいます。

塩田 輝美

しおた てるみ

認知症看護認定看護師

病気だけをみるのではなくその人を見ること、そして住み慣れた場所に戻ることができる様にケアすることを目標にしています。

木原 朋香

きはら ともか

慢性心不全看護認定看護師

私の目標は、心不全患者さまを支援することにより、繰り返し入院することなく、自分らしい生活を送っていただくことです。



「医療薬学専門薬剤師研修施設(連携施設)」に 認定されました。

本施設認定を受けることで、「医療薬学専門薬剤師」に必要な研修プログラム等を連携先である基幹施設（当院の場合は、産業医科大学病院）のプログラムに則り研修受講することができ、当院に薬剤師として在籍・勤務していることでその機会を得ることが出来ます。

これからも薬剤部門から、24時間365日習得した知識を医師や看護師等の医療従事者に還元し、患者さんのために質の高い医療を提供できるよう努力して参ります。

■認定期間：2024年4月1日～2029年3月31日

■交付日：2024年4月1日（初認定）



新任 医師紹介

2024年10月より着任いたしました。よろしくお願いいたします。



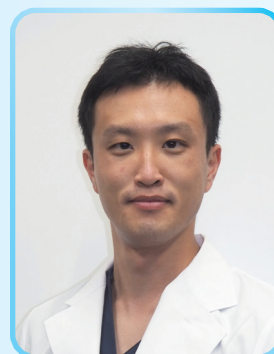
耳鼻咽喉科主任部長
大久保 淳一
おおくぼ じゅんいち



呼吸器内科副部長
瓜生 拓夢
うりゅう たくむ



脳神経外科副部長
野村 得成
のむら のりあき



外科
久原 一哲
くはら かずのり

後発医薬品のある先発医薬品（長期収載品）の選定療養について

令和6年10月から患者希望による先発医薬品は、「特別の料金」をお支払いいただきます。一部の医薬品について、患者さんの希望により先発医薬品を処方する場合に、先発医薬品と後発医薬品の価格差の4分の1相当を、病院または薬局にて患者負担とは別にお支払いいただきます。**公費負担等で自己負担がない患者さんも対象**となります。

- ・先発医薬品を処方することが医療上必要であると医師が判断した場合は対象外です。
- ・医療機関や薬局に後発医薬品の在庫がない場合は対象外です。
- ・生活保護受給者については、長期収載品を医療扶助または保険給付の支給対象として処方することはできません。詳細は窓口へお尋ね下さい。



詳しくは厚労省HPをご確認ください。
(厚労省の関連ページにアクセスできます。)

マイナ保険証について

現行の健康保険証は、令和6年12月2日以降新たに発行されなくなります。

その後は、マイナンバーカードの健康保険証利用（マイナ保険証）を基本とするしくみに移行します。ただし移行後も、お手元の健康保険証は、有効期限までの間、最長1年間使用できます。

※後期高齢者医療保険加入者の方の有効期限は2025年7月31日となりますのでご注意ください。



詳しくは厚労省HPをご確認ください。
(厚労省の関連ページにアクセスできます。)

八幡病院
QRコード
こちら➡



八幡病院
Instagram
こちら➡



外来診療担当表
QRコード
こちら➡



患者さんのご紹介やお問い合わせなどは地域医療連携室をご利用下さい。

TEL 0120-41-6565（地域医療連携室直通） FAX 093-662-1909（地域医療連携室専用）



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立八幡病院

<https://www.kitakyu-cho.jp/yahata/>

〒805-8534 北九州市八幡東区尾倉2丁目6番2号
TEL (代表) 093-662-6565 FAX 093-662-1796
(小児救急センター: 093-662-1759)

ACCESS

JR鹿児島本線: JR八幡駅から南へ徒歩9分
西鉄バス: 「市立八幡病院」病院敷地内
「八幡駅入口第一・第二」から徒歩6分



八幡病院広報誌「さらくら」
第39号

2024年11月発行

発行・編集: 八幡病院広報委員会

印刷: (株) ゼプロス TEL 093-616-9385